

2025年2月期 通期決算説明会

株式会社ティーケーピー(証券コード：3479)

2025年4月14日（月）

TKPガーデンシティPREMIUM京橋



目次 CONTENTS

2025年2月期 通期連結決算概要

決算・直近事業進捗サマリ	2
連結決算概要	3
事業概況	8

事業戦略アップデート

貸会議室・フレキシブルスペース	14
ホテル・宿泊研修	18
政策投資・事業提携	22

今後の戦略

2026年2月期通期業績予想	26
----------------	----

Appendix	31
----------	----

2025年2月期 連結決算

- 企業の人的資本投資への関心や対面コミュニケーション回帰の動きを受け、貸会議室事業は堅調に推移。
- 宿泊事業は増収基調が継続し、**通期売上高が100億円を突破**。
- 通期累計で売上高および経常利益は**過去最高を更新**。
- リリカラを除く通期累計売上高においても**コロナ前(2020年2月期)を上回り、過去最高を更新**。

事業トピックス

- シェアオフィスブランド「fabbit」を承継**。
貸会議室とシェアオフィスを機動的かつ効率的に展開しながら事業を拡大する。
- イオンモールと提携**し、埼玉・イオンモール羽生内にトレーラーハウスヴィラ「レクトーレ羽生TERRACE」を4月に開業予定など、新業態の宿泊施設展開を進める。
- リリカラ・ノバレーゼの連結子会社化**など政策投資・事業提携を積極的に実施。
来期は関係会社間の連携を深めながらも、サービス拡充に向けたM&Aを推進。

2025年2月期 連結決算概要

2025年2月期 連結損益計算書

Q3からリリカラの業績を反映したことにより、売上高、営業利益、経常利益が前期比で大幅に増加。
通期累計では**売上高および経常利益で過去最高を更新**。

(百万円)	2024年2月期					2025年2月期					前年同期比増減率		2025年2月期 業績予想
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	vsQ4	vsQ4累計	
売上高	9,022	8,727	9,653	9,142	36,545	10,562	9,717	19,850	19,077	59,208	+108.7%	+62.0%	59,000
売上総利益	3,748	3,324	3,597	3,216	13,885	4,363	3,769	6,920	6,457	21,510	+100.8%	+54.9%	—
売上比	41.5%	38.1%	37.3%	35.2%	38.0%	41.3%	38.8%	34.9%	33.8%	36.3%	△1.3pt	△1.7pt	—
販管費	2,000	2,313	2,426	2,537	9,278	2,670	2,728	5,187	5,008	15,595	+97.4%	+68.1%	—
EBITDA	2,067	1,341	1,513	1,027	5,949	2,038	1,419	2,280	2,004	7,743	+95.2%	+30.1%	—
営業利益	1,747	1,010	1,170	678	4,607	1,692	1,041	1,732	1,448	5,915	+113.4%	+28.4%	5,900
売上比	19.4%	11.6%	12.1%	7.4%	12.6%	16.0%	10.7%	8.7%	7.6%	10.0%	+0.2pt	△2.6pt	10.0%
経常利益	1,758	1,233	1,237	632	4,862	1,762	859	1,511	1,691	5,825	+167.5%	+19.8%	5,700
親会社株主に帰属する 四半期/当期純利益	4,628	1,084	776	831	7,321	1,873	549	892	474	3,789	△42.9%	△48.2%	4,000

※2024年2月期Q1の親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等調整額計上（+32億円）の特殊要因あり

※2024年2月期にリリカラ社持分適用関連会社化による暫定的な会計処理をしていたが、会計処理が確定したことにより前期である2024年2月期Q2の経常利益、四半期利益を修正

※EBITDAは営業利益に減価償却費、のれん償却費、長期前払費用償却を加算して算出

2025年2月期 ティーケーピー本体 損益計算書(リリカラ除く)

企業の人的資本投資への関心や対面コミュニケーション回帰による貸会議室稼働増、ホテルの高稼働、高単価継続により、**通期累計でコロナ前(2020年2月期)を上回り、過去最高売上高を更新。**

(百万円)	2024年2月期					2025年2月期					前年同期比増減率	
	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	Q1	Q2	Q3	Q4	累計	vsQ4	vsQ4累計
売上高	9,022	8,727	9,653	9,142	36,545	10,562	9,717	11,186	10,612	42,079	+16.1%	+15.1%
売上総利益	3,748	3,324	3,597	3,216	13,885	4,363	3,769	4,550	3,790	16,473	+17.8%	+18.6%
売上比	41.5%	38.1%	37.3%	35.2%	38.0%	41.3%	38.8%	40.7%	35.7%	39.1%	+0.5pt	+1.2pt
販管費	2,000	2,313	2,426	2,537	9,278	2,670	2,728	2,763	2,846	11,009	+12.2%	+18.7%
EBITDA	2,067	1,341	1,513	1,027	5,949	2,038	1,419	2,271	1,438	7,168	+40.1%	+20.5%
営業利益	1,747	1,010	1,170	678	4,607	1,692	1,041	1,787	943	5,464	+39.0%	+18.6%
売上比	19.4%	11.6%	12.1%	7.4%	12.6%	16.0%	10.7%	16.0%	8.9%	13.0%	+1.5pt	+0.4pt

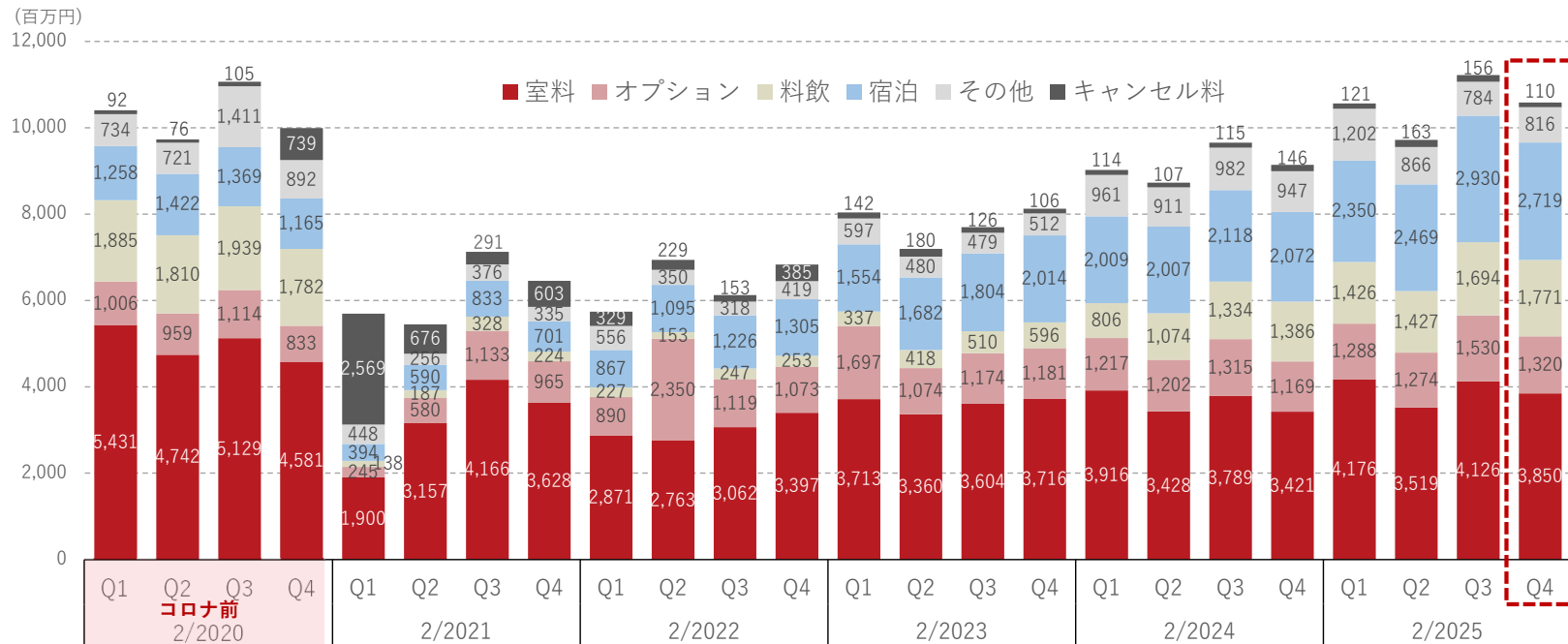
※EBITDAは営業利益に減価償却費、のれん償却費、長期前払費用償却を加算して算出
※リリカラを除いた単純合算数値を記載しており、内部消去をおこなっているセグメント情報の数値とは異なる

サービス別売上高推移(リリカラ除く)※

室料、オプション、料飲が好調に推移し、**前年同四半期(Q4)、コロナ前同四半期(Q4)を上回る売上高を達成。**

宿泊は高稼働、高単価継続により **前年同四半期比 + 31.2%。**

回復が遅れていた料飲もコロナ前(2020年2月期)同四半期比と **同水準まで回復。**



※リリカラ事業および2023年2月に売却したリージャス事業を除いた連結業績

2025年2月期 連結貸借対照表およびキャッシュフロー計算書

政策投資を含む事業投資により現預金が減少し、固定資産が増加。

Q2よりリリカラ、Q4よりノバレーゼをB/S連結した影響で自己資本比率が低下するも34%を維持。

(百万円)	2024年2月期末	2025年2月期末	対前期比
流動資産	37,436	35,274	△2,161
（現預金）	32,069	14,528	△17,540
（売掛金）	3,915	9,747	+5,831
固定資産	42,235	86,119	+43,883
（有形固定資産）	24,414	51,870	+27,455
資産合計	79,672	121,394	+41,721
流動負債	10,584	32,786	+22,202
固定負債	28,852	43,148	+14,295
負債合計	39,437	75,934	+36,497
（有利子負債残高）	32,987	50,959	+17,972
純資産合計	40,235	45,459	+5,224
負債・純資産合計	79,672	121,394	+41,721

自己資本比率	50.4%	34.1%	△16.3pt
---------------	--------------	--------------	----------------

(百万円)	2024年2月期	2025年2月期	前期末比
営業活動によるキャッシュフロー	3,722	5,095	1,373
投資活動によるキャッシュフロー	△5,006	△21,300	△16,293
フリーキャッシュフロー	△1,284	△16,204	△14,919
財務活動によるキャッシュフロー	692	△1,336	△2,029

2025年2月期 事業概況

出退店実績

Q4では5施設の出店および既存施設の増床により**4,159坪(貸会議室：約1,700坪)の増床。**

	2023年 2月期 通期	2024年 2月期 通期	2025年 2月期 通期
新規 出店数	+ 4施設	+ 16施設	+ 23施設 (Q4：+ 5施設)
増床数	+ 8,927坪	+ 13,439坪	+ 13,868坪 (Q4：+ 4,159坪)
退店数	△5施設	△25施設	△16施設 (Q4：△7施設)
減床数	△1,772坪	△12,428坪	△2,622坪 (Q4：△993坪)

**主なQ4
出店増床**

出店


+ 284坪

TKPガーデンシティ
PREMIUM浜松町
WTC annex

出店


+ 299坪

TKPガーデンシティ
PREMIUM
京橋ANNEX

出店


+ 452坪

TKP新大阪
カンファレンスセンター

増床


+ 288坪

TKPガーデンシティ渋谷

増床


+ 143坪

TKPガーデンシティ
PREMIUMみなとみらい

※面積は契約面積。「増床数」は新規出店および既存施設増床を合計した数値、「減床数」は既存施設の退店および減床を合計した数値を記載
 ※2025年2月期Q1にカウント定義を見直したことにより、2024年2月期末の数値を変更
 ※ノバレーゼの数値は除く（次ページ参照）

9

グレード別 施設数・会議室数

グレード			2023.2期末	2024.2期末	2025.2期末
	ブライダル施設 のバンケット	シルク CIRQ	施設数 室数 面積(坪)	24 50 19,956	60 219 33,464
	大型・新築の オフィスビル	ガーデンシティ PREMIUM (GCP)	施設数 室数 面積(坪)	25 295 15,392	30 341 18,151
	大型・中古ホテル バンケット	ガーデンシティ (GC)	施設数 室数 面積(坪)	36 381 18,012	44 478 27,300
	大型・中古の オフィスビル	カンファレンス センター (CC)	施設数 室数 面積(坪)	64 764 29,294	53 667 26,850
	中型・中古の オフィスビル	ビジネス センター (BC)	施設数 室数 面積(坪)	28 207 5,270	23 176 4,526
	小型・中古の オフィスビル	スター 貸会議室	施設数 室数 面積(坪)	28 53 1,588	27 55 1,286
貸会議室小計			施設数 室数 面積(坪)	205 1,767 98,070	240 2,033 115,570
アパホテル・レクトーレ・石のや等 宿泊施設			施設数 会議室数 面積(坪)	32 237 50,580	31 165 42,854
TKP貸会議室+宿泊施設 合計			施設数 室数 面積(坪)	237 1,988 139,912	275 2,186 140,924

全国**275**施設
契約面積**16万**坪超の
スペースを提供

※2025年2月期Q1にカウント定義を見直したことにより、2024年2月期末の数値を変更

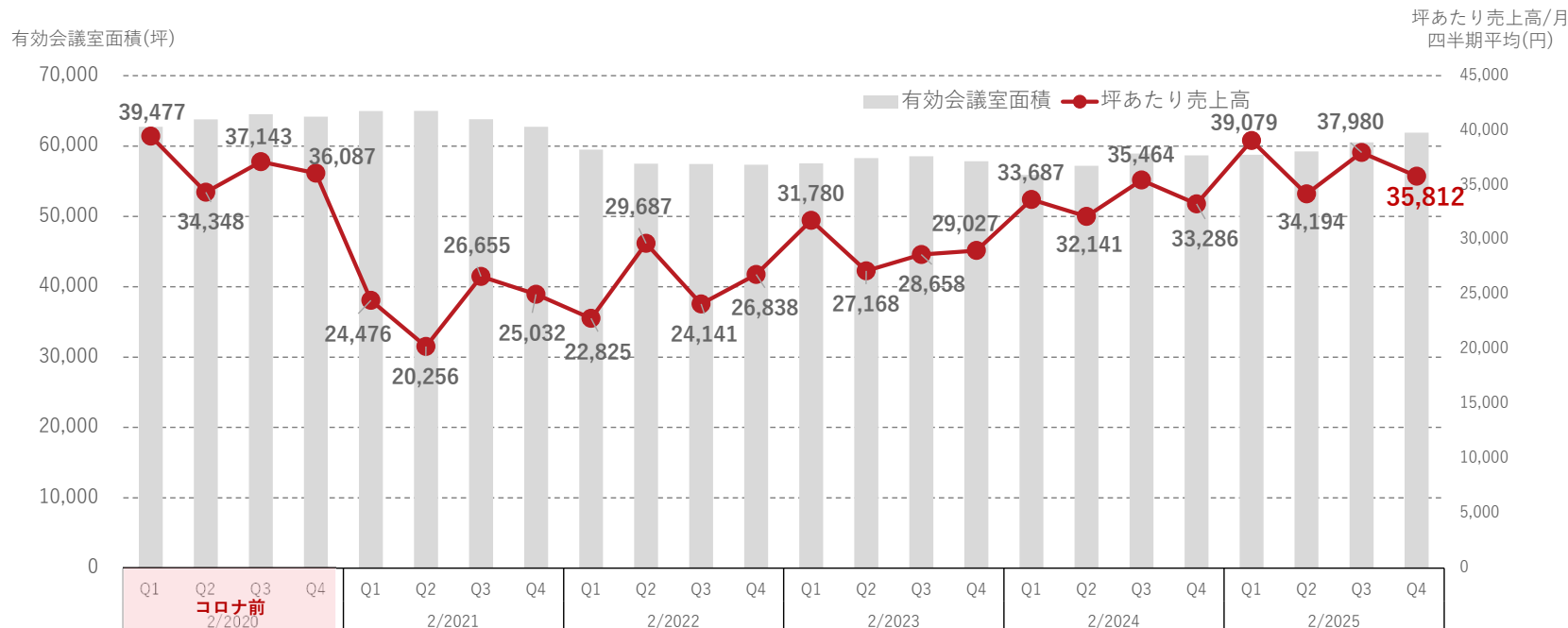
※2024年2月期Q3に一部施設のカウント定義を見直したことにより、上記表の2024年2月期末と2023年2月期末の差分と、本資料前ページに記載の出退店実績における数値とは不一致となっている

※CIRQの施設数は従来のエスクリの施設数に加え、ノバレーゼの施設数36施設が含まれている

貸会議室・フレキシブルスペース KPI推移－坪あたり売上高

坪あたり売上高は、前年同四半期（Q4）に対し**2,526円（約8%）**増加した。

今後も単価と稼働のバランス最適化、fabbit事業を組み合わせた床面積の最適活用により、坪あたり売上高の引き上げを目指す。



※坪あたり売上高：会議室の室料、オプション料、料飲売上高等会議室利用に付随する売上高の合計を有効会議室面積で割った数値

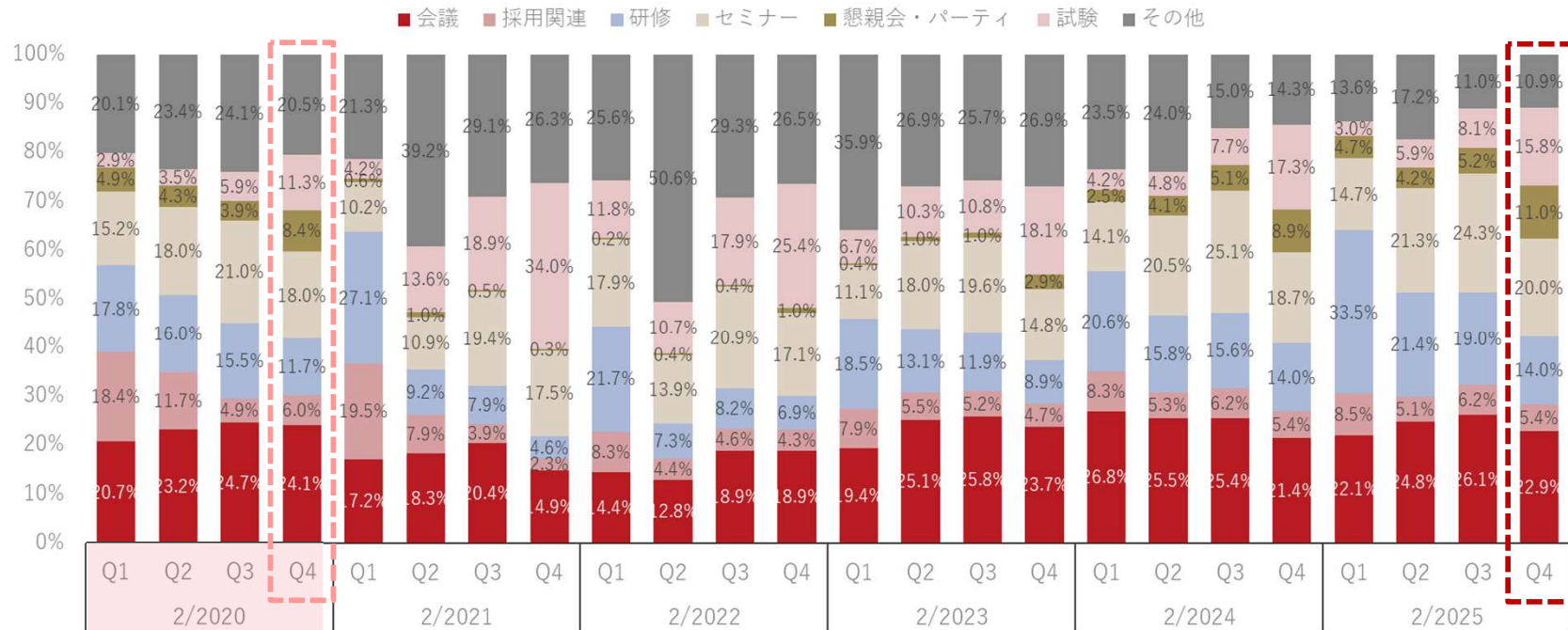
有効会議室面積：会議室としてレンタル可能な面積の合計（施設の共用部分や宿泊施設の客室等、会議室として利用されない面積は含まない）

※ 2020年2月期までは再開発による取り壊しで撤退となった、約2千人収容可能で坪あたり売上高が突出したGC品川が本来含まれるが、同等の条件で比較するために除いた。

貸会議室・フレキシブルスペース 利用用途の売上高割合推移

企業の人的資本投資への取り組みがさらに増加し、研修需要が好調に推移。

懇親会・パーティ需要はコロナ前Q4・前年Q4と比較しても好調で増加傾向



コロナ前

※貸会議室は汎用性が高く、個別カテゴリーに当てはめることが困難な「その他」の利用用途が多い

「その他」の利用用途には、臨時オフィスとしての長期貸し、株主総会、記者会見、その他各種イベントや新型コロナのワクチンセンターとしての利用等を含む

※ 2024年2月Q3以降は基幹システムの刷新に伴い、カテゴリ化がより精緻となったことにより「その他」の比率が減少している

事業戦略アップデート

貸会議室 フレキシブルスペース



TKP新横浜
カンファレンスセンター



TKP京都四条
カンファレンスセンター



TKP博多口
カンファレンスセンター

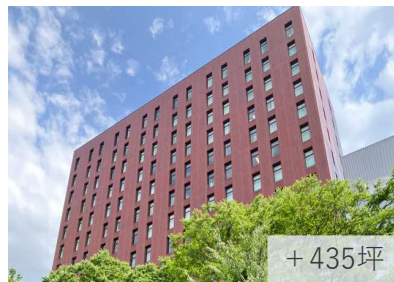


TKP田町駅前
カンファレンスセンター

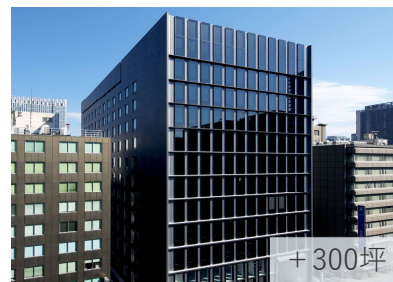
通期で約6,000坪の新規出店・増床を達成



TKP新橋汐留
カンファレンスセンター



TKP仙台青葉通
カンファレンスセンター



TKPガーデンシティPREMIUM
京橋ANNEX



TKPガーデンシティPREMIUM
浜松町 WTC annex

fabbit(シェアオフィス)を活用した合同出店の実施

貸会議室・シェアオフィス共に、様々な出店形態を通じてフレキシブルスペースの店舗拡大を計画中

既存物件の増床・合同出店

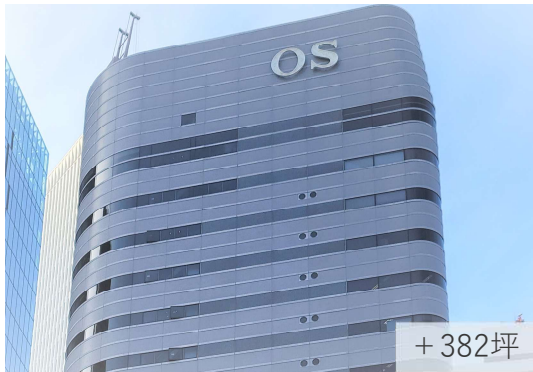
TKP fabbit渋谷



5月7日出店予定

新規物件の仕入れ・fabbit単独出店

fabbit 梅田



7月15日出店予定

新規物件の仕入れ・合同出店

TKP fabbit高松

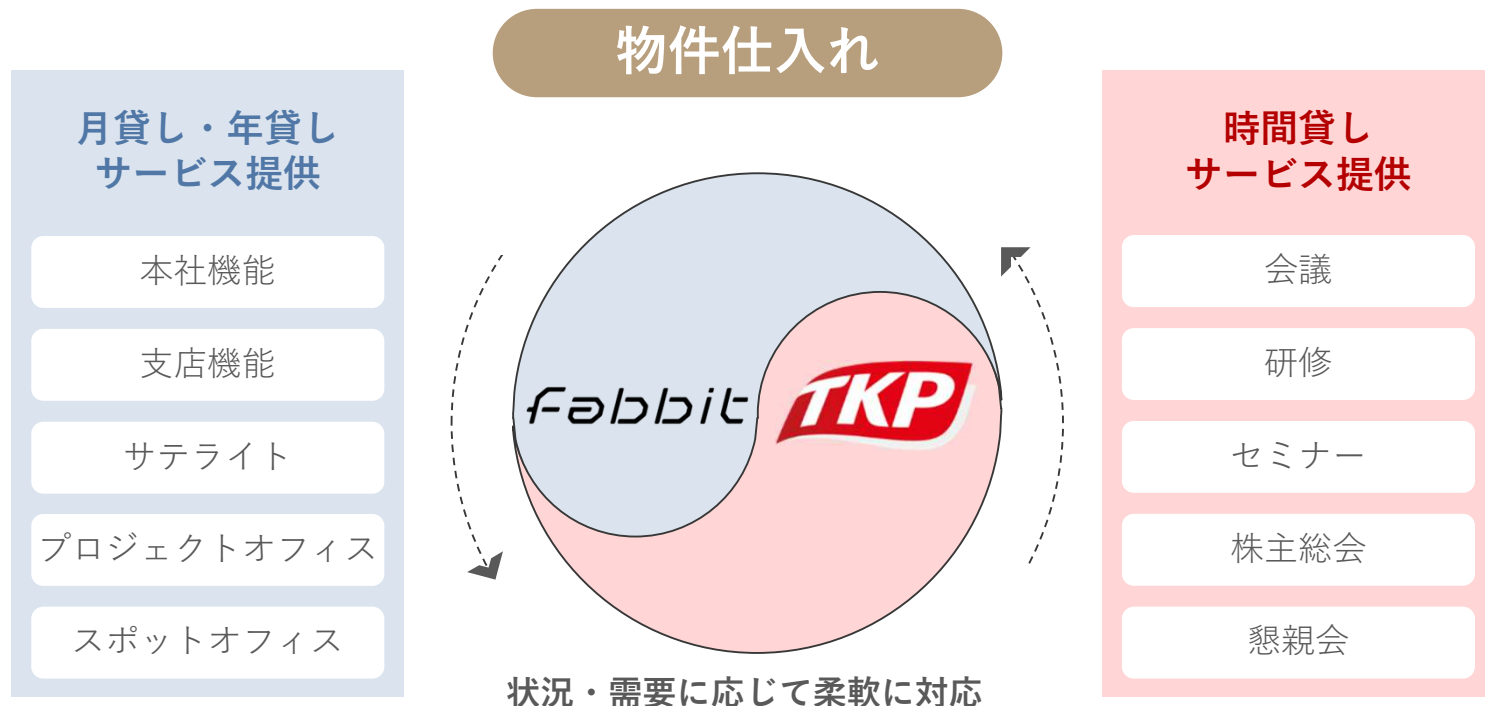


夏頃出店予定

市況・オーナー事情に応じて**貸会議室とfabbitをフレキシブルに提案**し、物件を仕入れ
現在運営しているTKP施設の一部にもfabbitサービスの追加を計画中

TKP fabbitならではの物件仕入れと店舗展開

TKPならではの柔軟性を十分に発揮し、**期間・用途にとらわれない“真の意味でフレキシブルなスペース”を提供**。顧客の需要に的確に対応する。



ホテル・宿泊研修

グランレクトーレ湯河原開業

2025年2月5日開業。宿泊研修施設「レクトーレ湯河原」を全面改装し、新ブランドとしてリニューアル。
宿泊料金に食事やドリンク、アクティビティなどさまざまな館内サービスが含まれている**オールインクルーシブ**
で無料提供。法人の宿泊研修需要のほか、インバウンドを含む個人宿泊需要の取り込みも目指す。



55室



カラオケブース(アクティブラウンジ)



ビューサウナ(スパサウナ内)



ビュッフェレストラン



ダーツマシン(アクティブラウンジ)



ガーデンテラス活用例



バーカウンター(メインラウンジ)

所在地

神奈川県足柄郡湯河原町鍛冶屋572-1

館内設備
サービス

会議室3室、ビュッフェレストラン、大浴場2か所、
スパサウナ(通常サウナ、ヒーリングサウナ、コ
ールドサウナ、ビューサウナ、足湯、水風呂、温泉)、
家族風呂3か所、メインラウンジ(軽食、ドリンク)、
アクティブラウンジ(ダーツ、カラオケ、パターゴ
ルフ等)、他ラウンジ3か所、ガーデンテラス等

Q4ではグランレクトーレ湯河原に加え、アパホテル<宮城古川駅前>を開業。TKPの運営するアパホテルは建設中を含む**全国17棟・3,157室**となる。今後は新業態の宿泊施設の展開を進める。

アパホテル 〈湘南 辻堂駅前〉

都心までの利便性もよい湘南エリアに位置し、ビジネスや観光、インバウンドなど幅広いお客様に対応。



1月20日
開業

アパホテル 〈宮城古川駅前〉

館内はワークプレイスとしての機能が充実。
出張や宿泊研修などビジネス利用における快適性と効率性を追求した。



2月26日
開業

レクトーレ羽生 TERRACE

貸切のヴィラで、完全プライベートな空間を提供。
9種類の客室があり、法人のお客様の宿泊研修やオフサイトミーティングにも最適。



4月24日
開業予定

ISHINOYA別府 SHONIN PARK

TKP初となるPark PFI事業。
空間再生流通事業の一環として公園整備に取り組む。
地方創生とさらなる地域の価値向上を進める。



25年7月
開業予定

出店進捗

2025年2月期以降開業予定ホテル

- 石のや
- アパホテル(FC)
- レクトーレ
- その他宿泊施設



アパホテル大分駅前
2025年12月開業予定



アパホテル和歌山



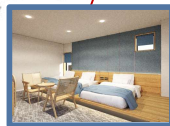
アパホテル
京都五条大宮



アパホテル宮城古川駅前
2025年2月開業



アパホテル函館駅前



レクトーレ熱海桃山SMART
2025年夏開業予定



アパホテル湘南 辻堂駅前
2025年1月開業



レクトーレ羽生 TERRACE
2025年4月開業予定



グランレクトーレ湯河原
2025年2月開業



アパホテル帯広駅前



箱根強羅
2027年開業予定

直営 全**30**施設

(2025年2月末時点)
※開業前施設も含む

政策投資・事業提携

インターメディア企業概要

2025年3月31日に**音響・照明・映像演出の設計・施工を手掛ける**株式会社インターメディアの発行済株式を100%取得、**完全子会社化**。

株式会社インターメディア **i i n t e r m e d i a**
■ ADVANCED SPACE MAGIC CREATION AND ENGINEERING ■

設立 | 1987年

代表者 | 代表取締役社長 鈴木 篤

事業内容 | 照明・音響・映像システムの設計、施工
照明・音響・映像機器の販売、レンタル、保守
商業施設の照明プランニング、総合プロデュース
イベント等のテクニカルプロデュース

所有比率 | 100%

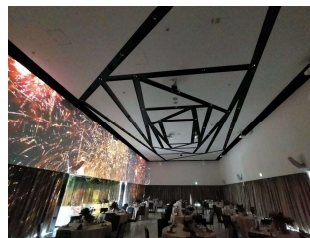
想定シナジー

- ・グループ各社施設の照明等の工事、メンテナンス
- ・グループ各社施設の照明等のプロデュース
- ・TKPイベントプロデュース事業との連携
- ・TKP音響レンタル事業との連携
- ・リリカラ社スペースソリューション事業との連携

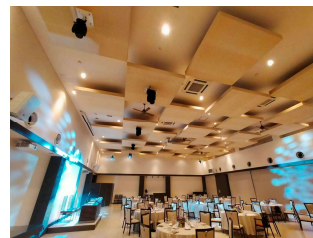
インターメディアの照明システム施工例



ムービングライト・演出照明施工例



3Dプロジェクションマッピング
施工例



ムービングライト施工例

株式会社ハークスレイとの業務提携、株式会社 味工房スイセンへの出資

2025年4月14日に「**ほっかほっか亭**」などを展開する株式会社ハークスレイと業務提携契約を締結。
業務提携の一環として、4月24日付で同社子会社である株式会社 味工房スイセンの**発行済株式の35%**を取得。

株式会社ハークスレイ **HURXLEY** **ほっかほっか亭**

設立	1980年3月
代表者	代表取締役会長兼社長 青木 達也
売上高	467億円(2024年3月期)
事業内容	食料の生産、加工、物流および消費に関わる一連の活動をプロデュースする企業グループ(食のインテグレーション企業)

株式会社 味工房スイセン **CATERING SUISEN**

設立	1991年2月(創業1968年6月)
代表者	代表取締役社長 小石 和馬
事業内容	ケータリング、お弁当製造 慶事料理、法事・法要料理製造 出張料理、パーティー・イベント企画
所有比率	35.00%

想定シナジー

- ・ TKP顧客基盤を活用したスイセン社の販路拡大
- ・ TKPの懇親会対応キャパシティ拡大
- ・ TKP顧客へ弁当等のハークスレイグループの製品提供
- ・ 共同仕入れなどによるコスト削減

味工房スイセンの提供サービス例



ケータリング



お弁当

リリカラ × TKP

- ・TKP施設を利用したサテライトショールーム、インテリア販売会を準備中。
- ・元TKP常務の岡田卓哉氏がリリカラ社取締役副社長に就任。
- ・出資先の株式会社エスクリ代表取締役社長 渋谷守浩氏がリリカラ社取締役に就任。

リリカラ × APAMAN

- ・アパマン管理物件におけるリリカラ商材の活用を推進。アパマン社FC加盟店、協力業者への販促進展により、販売数量増加中。

NOVARESE × TKP

- ・広島エリアでノバレーゼ施設厨房からTKP施設へのケータリング提供を準備中。6月より提供開始予定。
- ・TKP執行役員(ホテル・料飲担当)を取締役として派遣。



▲ノバレーゼ厨房よりTKP懇親会メニューを提供

今後の戦略

2026年2月期 通期業績予想

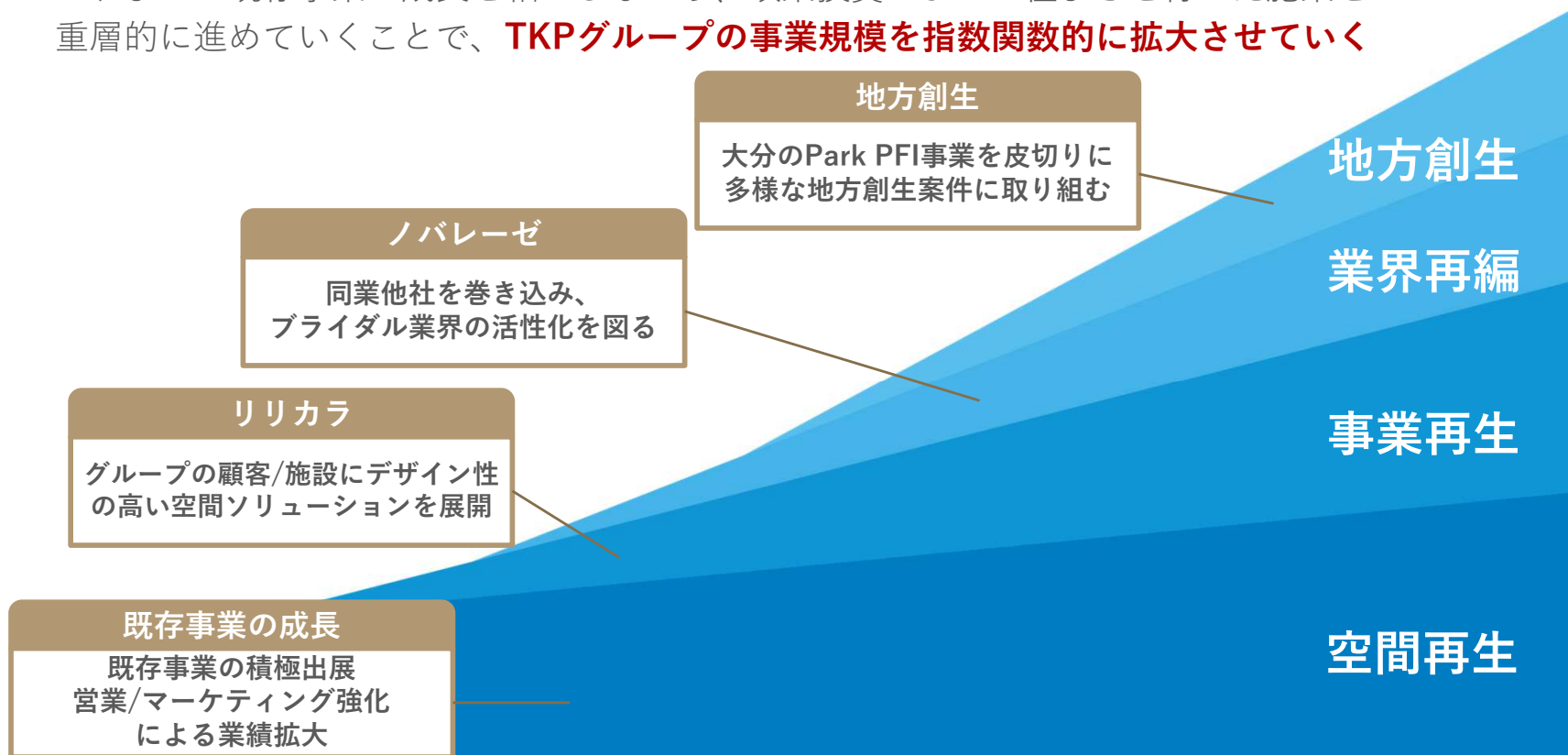
- ・ リリカラ、ノバレーゼの通期寄与により**売上高、営業利益、経常利益**は過去最高を更新へ
- ・ **貸会議室・フレキシブルスペース事業の成長**や、**2025年2月期出店宿泊施設の通期寄与、新規出店**等により業績押し上げ
- ・ 2025年2月期計上の法人税等調整額770百万円(※)が剥落し、親会社株主に帰属する当期純利益は減益見込

(百万円)	2025年2月期	2026年2月期		
	実績	業績予想	前期比 増減額	前期比 増減率
売上高	59,208	103,000	+43,791	+74.0%
営業利益 (営業利益率)	5,915 10.0%	7,000 6.8%	+1,084 ▲3.2%pt	+18.3%
経常利益	5,825	6,000	+174	+3.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,789	3,200	△589	△15.6%

※台湾リージャス事業売却に伴う損失への税効果会計適用による法人税等調整額

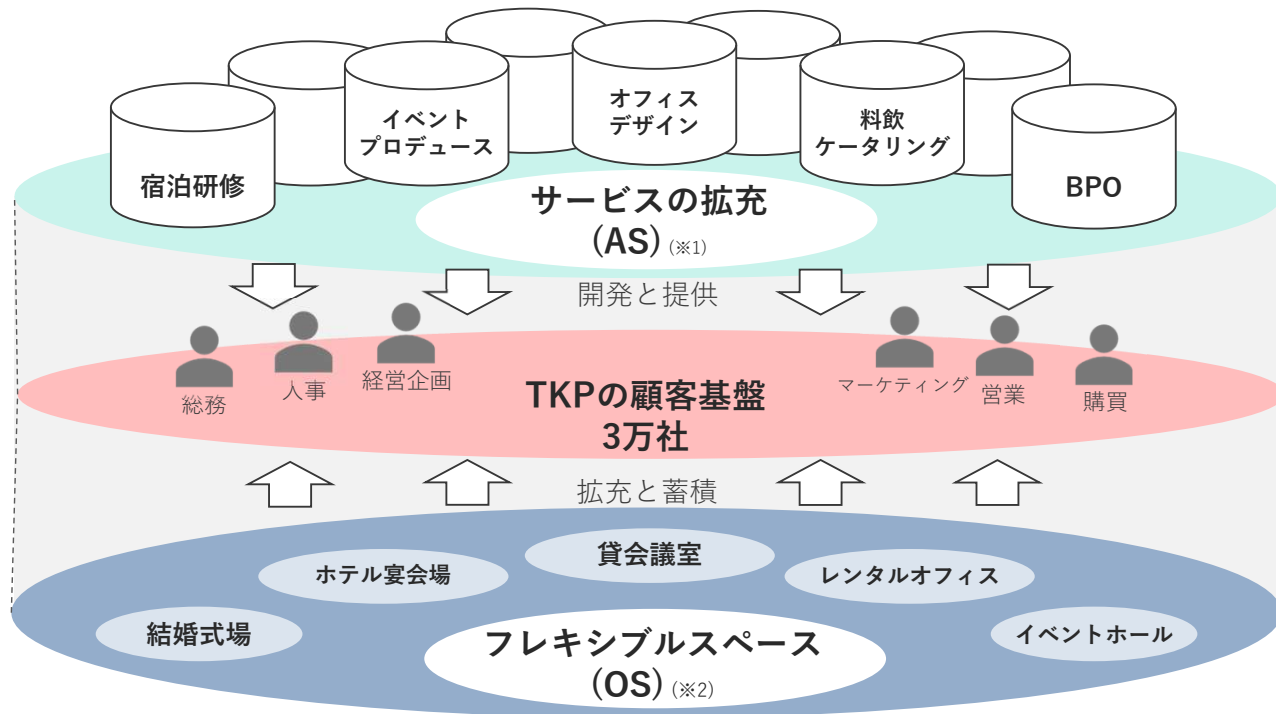
再生を軸にした重層的な施策展開

これまでの既存事業の成長を軸としながら、政策投資によって種まきを行った施策を重層的に進めていくことで、**TKPグループの事業規模を指数関数的に拡大させていく**



強みの源泉である顧客基盤を活かしたハードとソフトの融合

TKPの最大の強みはこれまでの事業で培ってきた“**強固で幅広い顧客基盤**”にある。
フレキシブルオフィスのハード面をOSとして、顧客の課題に合わせて様々なソリューションを**アップリケーションのように追加・拡張**し、顧客基盤を活性化させるとともに、事業成長に繋げていく



※1 AS：アプリケーションサービス

※2 OS：オペレーティングサービス

▶ BPO/コンテンツ
を中心に拡張・展開

▶ 営業/マーケティング
による基盤活性化

▶ 継続して出店強化

自己株式取得の完了と更なる取得の決定（本日4/14発表）

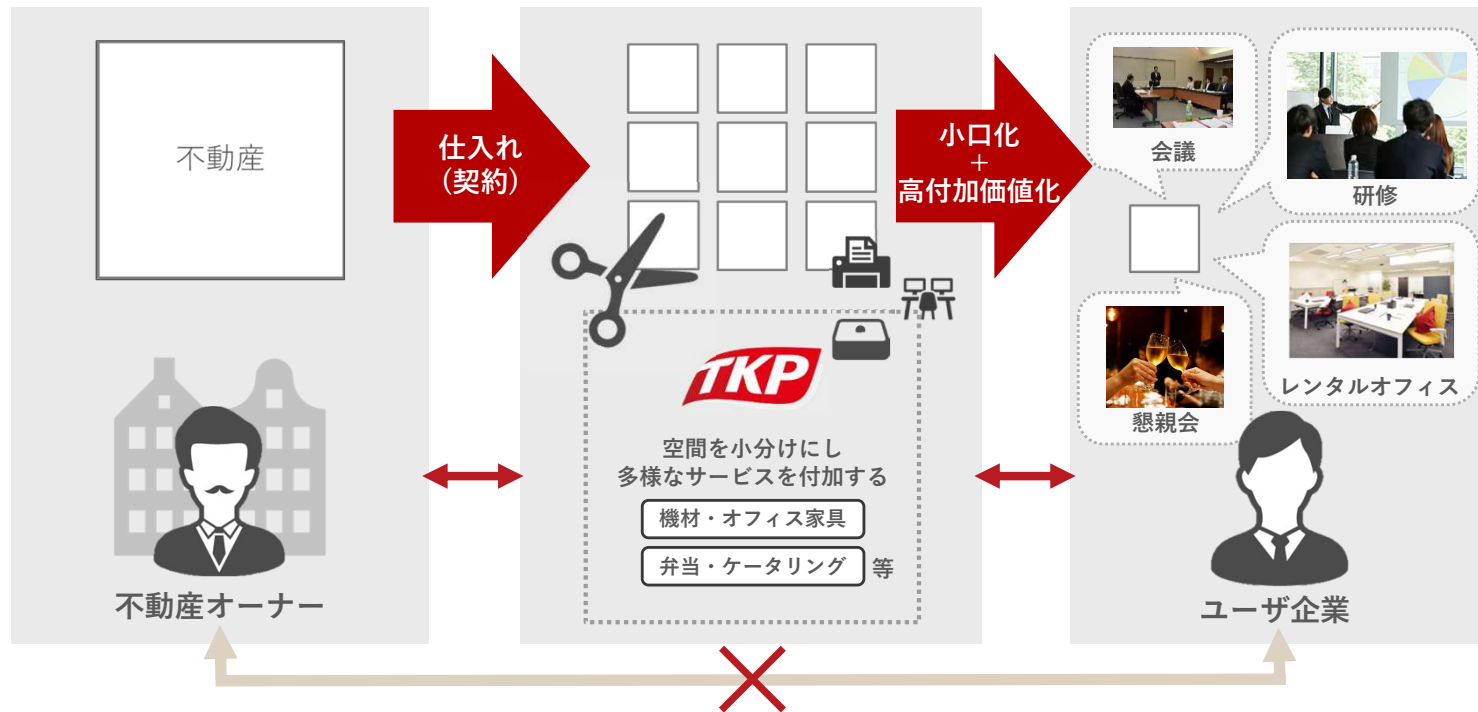
1月14日に発表した自己株式取得は3月19日に終了。株主還元の強化および資本効率性の向上を図るため、**更なる自己株式取得**を決定。

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	最大300万株 （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 7.07%）
株式の取得価額の総額	最大35億円
取得期間	2025年4月15日～2025年6月30日
取得方法	東京証券取引所における市場買付

Appendix

ビジネスモデル「空間再生流通」

不動産を保有せずに賃貸借・業務委託等の契約で確保し、小分けして周辺サービスを付加することで、ワンストップで総合的な空間サービスを提供する



契約などの手間をかけずフレキシブルな期間・用途で利用が可能

TKPの競争優位性

貸会議室を主軸に**全国に幅広いネットワークを展開しているのはTKPのみ**。さらに、**幅広いオプションサービス・柔軟なオペレーションに秀でている**ほか、**フレキシブルオフィスの提供も可能**。

そのため、幅広い顧客層のニーズに応える事ができ、競合と比較して優位性は非常に高い。

	TKP + fabbit	A社	B社	C社	D社
拠点数 (全国)	293 (TKP275,fabbit18)	38	20	18	4
拠点数 (都内)	88 (TKP80,fabbit8)	38	13	16	3
全国展開	◎	△	△	△	△
運営母体 主軸事業	貸会議室	不動産	不動産	不動産	鉄道
施設規模	小～大ホール	中～大ホール	小～中規模	小～中規模	中規模
価格帯	安価～高級	高級	安価～中価格	安価～中価格	高級

※競合他社は、拠点数や貸会議室としての認知度等をもとに当社が選定し、2024年の公表データより当社試算/算出。
※当社グループの数値は2025年2月末時点。拠点数はTKP会議室とエスクリ社、ノバレーゼ社との共同ブランド「CIRQ」の拠点数の合計。

当社が運営する宿泊施設※の形態（2025年2月末 全30施設 開業前含む）

アパホテル	客室数	オープン	建物	土地
アパホテル〈TKP札幌駅前〉	203	2014年8月	賃貸	—
アパホテル〈TKP札幌駅北口〉 EXCELLENT	105	2016年8月	賃貸	—
アパホテル〈TKP日暮里駅前〉	278	2016年12月	所有	所有
アパホテル〈TKP東京西葛西〉	124	2017年12月	賃貸	—
アパホテル〈TKP京急川崎駅前〉	143	2018年6月	所有	賃貸
アパホテル〈TKP仙台駅北〉	306	2018年10月	所有	所有
アパホテル〈大阪梅田〉	162	2019年5月	所有	所有
アパホテル〈博多東比恵駅前〉	206	2020年2月	所有	所有
アパホテル〈福岡天神西〉	268	2020年5月	所有	所有
アパホテル〈上野広小路〉	215	2020年7月	所有	所有
アパホテル〈京都五条大宮〉	122	2024年7月	所有	所有
アパホテル〈帯広駅前〉	222	2024年8月	所有	所有
アパホテル〈函館駅前〉	143	2024年8月	所有	所有
アパホテル〈和歌山〉	142	2024年11月	所有	所有
アパホテル〈湘南 辻堂駅前〉	111	2025年1月	所有	所有
アパホテル〈宮城古川駅前〉	152	2025年2月	所有	所有
【予定】アパホテル〈大分駅前〉	255	2025年12月	所有	賃貸

レクトーレ	客室数	オープン	建物	土地
レクトーレ熱海小嵐	20	2013年11月	賃貸	—
レクトーレ箱根強羅 (2027年オープン予定)	23	2014年1月	所有	所有
レクトーレ軽井沢	14	2014年7月	賃貸	—
レクトーレ熱海桃山	31	2014年7月	賃貸	—
グランレクトーレ湯河原	55	2017年5月	所有	所有
レクトーレ葉山湘南国際村	160	2018年4月	賃貸	—
【予定】レクトーレ熱海桃山SMART	13	2025年夏	所有	所有
その他	客室数	オープン	建物	土地
アジュール竹芝	122	2017年4月	賃貸	—
石のや 伊豆長岡	22	2015年1月	賃貸	—
ISHINOYA 熱海	22	2020年9月	賃貸	—
TKPサンライフホテル	310	2022年12月	賃貸	—
【予定】レクトーレ羽生 TERRACE	30	2025年4月	所有	賃貸
【予定】ISHINOYA別府 (SHONIN PARK内)	23	2025年7月	所有	賃貸

※直営施設のみ掲載

項目	単位	23年2月期	24年2月期	25年2月期
1人当たりの研修回数	回/年	1.68	2.49	10.98
コンプライアンス研修 (情報セキュリティ等含む)	回/年	1.00	1.00	1.00
男女 賃金差異(女性/男性)	%	80.3	79.6	78.3
平均時間外労働時間	時間/月	14.8	17.7	14.6
1人当たり有給休暇取得日数	日/年	19.6	16.3	16.5
育児休業取得率	%	70.4	43.3	100.0
男性	%	47.1	26.3	100.0
女性	%	100.0	72.7	100.0
女性社員比率	%	39.5	40.7	42.5
女性管理職比率	%	13.2	14.4	15.5
中途採用比率	%	78.3	95.2	76.5
障がい者雇用率	%	2.56	2.25	2.23
社外役員比率	%	62.5	62.5	75.0
独立役員比率	%	50.0	50.0	62.5
女性役員比率	%	12.5	12.5	37.5
内部通報件数	件/年	0	0	0
社外に公表すべき重大な情報漏洩発生件数	回/年	0	0	0

※単体の正社員を対象に算出

ご留意事項

本資料は、当社グループをより深く理解していただくためのものであり、
本資料に記載されたいかなる情報も、当社株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
また、これらに関する投資アドバイス目的で作成されたものでもありません。

本資料に記載されている業績見通し等は、
いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、
これらは市場環境や事業の進展などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績等は、
本資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

TKP
20th
Anniversary